

北アルプス地域と長野地域に 「ツキノワグマ出没注意報」を発出します

北アルプス地域において、9月14日から20日までの里地でのクマ目撃件数が、前週の1.5倍以上に増加したこと、及び9月27日に長野市でクマによる人身被害が発生したことを踏まえ、北アルプス地域及び長野地域を対象に「ツキノワグマ出没注意報」を発出します。

クマによる人身被害を防ぐため、一層の注意をお願いします。

【ツキノワグマ出没注意報】

発出期間 令和7年9月29日（月）から令和7年11月14日（金）まで

対象区域

北アルプス地域（大町市・池田町・松川村・白馬村・小谷村）

長野地域（長野市・須坂市・千曲市・坂城町・小布施町・高山村・信濃町・飯綱町・小川村）

里地でのクマ目撃件数（9月14日から9月20日）

北アルプス地域 15件（大町市7件、白馬村7件、小谷村1件）
（前週9月7日～9月13日：6件）

クマによる人身被害発生状況（全県）

令和7年度（9月28日現在）：10件、15名
（令和6年度：12件、13名）

※クマ出没注意報の発出基準（該当する基準）

- ・里地での人身被害の発生（長野地域）
- ・里地での目撃件数が増加傾向にあり、その件数が5件/週以上かつ前週の1.5倍以上（北アルプス地域）

上記を基準に専門家の意見を基に発出

ツキノワグマ出没警報・注意報
発出マップ



県民の皆様へのお願い ～秋のクマに注意～

- ・秋は、クマが冬眠に備えてエサを探し回る時期です。
- ・別紙「県民の皆様へのお願い 秋のクマに注意！」をご参照ください。
- ・**注意報を発出していない地域の皆様も、人身被害を防ぐため引き続きご注意ください。**

【参考：長野県ホームページ】

- ・ツキノワグマ対策 県民の皆様・長野県へ訪れる皆様へ <https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/bear.html#map>
- ・ツキノワグマの目撃情報が一目でわかるスマートフォンアプリの使用方法 https://www.pref.nagano.lg.jp/shinrin/happvou/070919_press.html



長野県産木材ロゴマーク &
キャッチフレーズについては
こちらから➡



つながる木のいのち

NAGANO WOOD PRODUCT

（問合せ先）

担 当 林務部森林づくり推進課鳥獣対策係
田淵、福澤
電 話 (代表)026-232-0110（内線）3264
(直通)026-235-7273
F A X 026-234-0330
電子メール choju@pref.nagano.lg.jp

秋のクマに注意！

○ 秋のクマは、冬眠に備えて脂肪を蓄えるため、エサを探し回ります

秋のクマは、冬眠に備えてブナ、ミズナラ、コナラ、クリなどのドングリ（堅果）をはじめ、ヤマブドウなど山にある食べ物を昼も夜も探して食べ続けます。ドングリ等が不作の年は、エサを求めて人里に出没し、カキやクリを食べることもあります。

○ 11月中旬頃から、ツキノワグマは冬眠期に入ります

冬の間は食べ物がないため、クマは11月中旬頃から概ね12月末までに、冬眠をはじめます。倒木の根本、木の根と地面とのすき間、岩穴、樹洞などのほか、背丈の高い笹ヤブの中などで冬眠しますので、入山時は近寄らないようにしましょう。

○ ツキノワグマは冬眠中に出産し、3月下旬頃に目覚めて活動を始めます

冬眠前にドングリ等を十分に食べ、栄養を蓄えたメスは、冬眠中に1～2頭の子熊を出産します。3月下旬、飲まず食わずで冬眠から目覚めたクマは、食べ物を探して山中を動き回ります。出産したクマは子連れとなり、神経質になっています。

クマと遭遇しないよう次のことに注意してください

◆ 里地にクマを寄せ付けない対策を

- ・秋には、カキやクリ、リンゴなど豊かな実りがありますが、放置してしまうとクマを引き寄せてしまいます。収穫しない果樹はあらかじめ伐採したり、畑や果樹園等の周囲には電気柵を設置するなど、クマを寄せ付けない対策をとしましょう。
- ・生ゴミは、クマにとって栄養価の高い食べ物です。一度餌付いてしまうとその場所に執着するようになり、人に見つかることを恐れなくなるなど、人身事故の危険性が高まります。生ゴミを長時間屋外に放置しないように適切に管理をしてください。
(クマを引き寄せるもの：漬物、廃油、油性塗料、燃料 等)

◆ 山及びその付近での対策

朝夕の行動は避け、複数人で行動する

- ・朝夕はクマが活発に活動します。この時間帯に山中に入ることは避けましょう。
- ・1人ではなく、複数人で行動しましょう。

クマ鈴、ラジオ、笛などを携帯する

- ・クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。クマ鈴、ラジオ、笛など音の出る物を鳴らしながら、クマに人の存在を知らせる対策をしましょう。
- ・釣りやキャンプで溪流沿いを移動する場合は、水の音でクマも人もお互いに気付かず、思わぬ距離まで接近してしまうことがあり注意が必要です。またキノコ採りで山中に入る時は、夢中になりすぎないように注意しましょう。
- ・クマ鈴等は万能ではありません。過信せず、周辺の気配に注意しましょう。

クマのいる場所に近づかない

- ・山中はクマの生息地で、どこにいてもおかしくありません。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。